

2021(令和3)年度(2021年4月1日から2022年3月31日まで)事業報告

1) 2021(令和3)年度東京都助産師会定時社員総会 報告

日 時：2021(令和3)年6月12日(土)14:00～14:47

場 所：公益財団法人 東京都助産師会館 5階講堂

社員総数：1097名(2021年5月18日現在)

出席社員：687名(出席42名、委任状645名)

定款第18条2項に基づき出席社員の中から、議長、橋本初江氏、副議長、柴亜希子氏、森山恭子氏が選出された。議長より、出席正会員(社員)および委任状数を報告し、正会員数の2分の1の出席をみたので議案の議決に必要な定足数を充足していることが告げられ、議案の審議に入った。

<監査報告>

監事の三島典子より、本日の定時社員総会に提出されたすべての議案および書類を調査し、いずれも法令および定款に適合しており、不当な事項はないと認めたことが報告された。

(1) 2020年度事業報告

①2020年度定時社員総会は、2020年6月13日(土)に公益財団法人東京都助産師会館講堂において開催され、社員総数1068名、出席社員729名で開催された。審議された内容はすべて承認された。

②理事会・運営会議・地区分会長会議の報告

新型コロナウイルス感染症のため、理事会、運営会議・地区分会長会議をすべてオンライン(ZOOM)にて行った。特徴的なものとしては妊産婦向けの動画配信プロジェクトを立ち上げ、妊婦産婦向けの動画配信をおこなった。またマタニティフェスティバルは通常、対面式で行っていたが、(コロナ禍)の状況のためオンラインで実施した。

③専門部会・委員会の報告

資料に基づき、部会や委員会主催の研修を年間計画に沿って実施したことの説明がされた。

部会、委員会の連携を重視した研修会、政策提言に向けての意見交換の機会が増えたことなどの報告があった。

(2) 2021年度事業計画および収支予算報告の件

①2021年度事業計画

事業方針は大きく変化はない。子育て女性支援センターの活動である電話相談の継続。東京都委託助産師教育指導講習会、スキルアップ講習会、地区分会の活動の推進、関係機関との連携との交流。マタニティフェスティバル、昨年度オンラインでの開催し、対応能力の向上もあり、今年度もオンライン開催を考慮。実施にあたっては、2021年度からは部会と理事、その他参加してくれる方々とチームを作り企画を行う方法で進めていく予定。賛助会員の確保では会員数の増員に向けての活動を進めていく。広報委員会と協力をえて母親向けのイベントも進めていく。独立行政法人福祉医療機構助成事業補助金が2021年度も受けることとなり、ママパパ産前産後サポート事業を推進していくことが説明された。

<決議事項>

1. 第1号議案 2020年度決算(計算書類)報告 承認の件

財務理事の横川峰子より資料に基づいて説明されたあと原案どおり可決された。

2) 2021年度理事会・運営会議・地区分会長会議 報告

(1) 理事会・運営会議(すべてWEB開催)

開催日	内 容
第1回臨時理事会 2021年6月26日	<審議事項> 1.2021年度東京都助産師会部会・委員会委員の承認
第1回理事会 2021年7月10日	<報告事項> 1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.WAM助成事業進捗状況 5.東京都委託事業について(オンライン相談、寄り添い型) <審議事項> 1.会員・賛助会員・賛助法人の承認

	2.マタニティフェスティバル開催方法、WG について 3.2021 年度要望書（案）について 4.会員限定研修会の日程と講師 5.東京都医療功労者候補者 6.中日アド企画監修謝金について
第 2 回 理事会 2021 年 9 月 4 日	<報告事項> 1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.WAM 助成事業進捗状況 5.東京都委託事業について（オンライン相談、寄り添い型） <審議事項> 1.会員・賛助会員・賛助法人の承認 2.助産師による産後ケアのブランディング事業 3.役員選任委員の承認 4.COVID-19 対応緊急助産師ミーティングについて
第 3 回理事会 2021 年 10 月 16 日	<報告事項> 1.会長・副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.いいお産の日イベントの進捗状況 5.WAM 助成事業進捗状況報告 6. 東京都委託事業について（オンライン相談、寄り添い型） <審議事項> 1.会員・賛助会員・賛助法人の承認 2.助産師による自宅療養中のコロナ陽性妊婦の健康観察事業について 3.総務総括委委員の承認 4.エドューケーター認定のための指導者への指導料について。
第 1 回運営会議 2021 年 12 月 4 日	<審議事項> 1.専門部会・委員会の 2022 年度活動計画
第 4 回理事会 2021 年 12 月 4 日	<報告事項> 1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.いいお産の日イベント決算報告 5.WAM 助成進捗状況 6.東京都委託事業について（オンライン相談、寄り添い型） <審議事項> 1.会員・賛助会員の承認 2.妊産婦向け訪問電話相談事業の実施 3.2022 年度財務理事への手当について
第 2 回運営会議 2022 年 1 月 29 日	<報告事項> 1.専門部会・委員会の 2021 年度活動報告
第 5 回理事会 2022 年 1 月 29 日	<報告事項> 1.会長・副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.WAM 助成進捗状況 5.東京都委託事業について（オンライン相談、寄り添い型） <審議事項> 1.会員・賛助会員の承認 2.特別功労賞、優良助産師等の推薦 3.布製マスクリメイクプロジェクト 4.次年度委託事業 5.2022 年度社員総会日程について
第 6 回理事会 2022 年 3 月 26 日	<報告事項> 1.会長・副会長報告 2.専門部会委員会報告 3.事務報告 4.WAM 助成進捗状況 5.東京都委託事業について（オンライン相談、寄り添い型） <審議事項> 1. 会員・賛助会員の承認 2.次年度東京都委託事業について（寄り添い型支援） 3.2022 年度予算(案)について 4.2022 年度スローガンについて 5.在日外国人両親学級事業 6.NCPR スキルアップ実施について
第 7 理事会 2022 年 5 月 17 日	<報告事項> 1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 <審議事項> 1. 2021 年度収支決算について 2. 通常総会審議事項について 3. 通常総会開催方法について

(2) 地区分会長会議（地区理事：棚木めぐみ 名嘉眞あけみ 清水幹子） すべて WEB 開催

開催日	内 容
第 1 回 2021 年 7 月 10 日	理事会報告 意見交換 ・ マタニティフェスティバルの開催方法などについて
第 2 回 2021 年 9 月 4 日	理事会報告 意見交換 ・ 新型コロナウイルス感染症について
第 3 回 2021 年 12 月 4 日	理事会報告 意見交換・助産師による自宅療養中のコロナ陽性妊婦の健康観察の委託事業など東京都委託事業について
第 4 回 2022 年 1 月 29 日	理事会報告 意見交換 ・ 地区分会長会議終了後、16 時より懇親会として、助産師で楽語家、濱脇文子さんによる、zoom ウェビナー独演会開催
第 5 回 2022 年 3 月 26 日	理事会報告 意見交換・次年度の事業計画などについて

3) 2021 年度 専門部会・委員会 報告

(1) 専門部会事業報告

【助産所部会】

担当理事：青柳三代子 委員長：月野真紀

委員：筏井沙織 一之瀬浩美 齋藤吏香 柴亜希子 惣ト加納 向谷地幸子

目標：新型コロナ感染予防対策に重点をおきつつ、助産所の特徴を生かして安全に業務が遂行できる

評価：関係機関との協力について～

東京都周産期医療協議会に参加し、コロナ禍における医療機関体制に関する情報を得、さらに各助産所からの情報共有し、具体的な動きについて確認していった。

助産所の安全な分娩へのサポート

- ① 助産所部会集会の開催を 3 回開催することができ、各助産所間の情報交換をすることができた。コロナ感染者急増時にオンラインで話し合うことで情報共有できた。
- ② 安全対策委員会で取り上げられた助産所の事例に適したテーマをタイムリーに選択し、研修会を開催し、安全に分娩を取り扱うため、最新の新生児医療及び産科の知識の向上を図った。
- ③ 安全管理評価はすべて対面の予定だったが、コロナ感染者が増えたことで、オンラインが多かった。委員が行えたのはよかったが、実際の施設を確認することができないことが多く、助産所の安全性についての確認は不十分であった。
- ④ 新規助産所の開設に向けて委員が出向いて具体的な助言と指導をし、最初の分娩を無事終了できていた。しかし、まだ課題もあるため継続して助言を続けていく。

委員会の開催：オンラインで 6 回開催

助産所部会集会：オンラインで 6 回開催

研修会企画実施

開催日	研修会	講師	所属	参加者数
9 月 18 日	安全管理研修 周産期の救急対応	山下智幸	日赤医療センター	58

安全管理評価 10～11 月 委員の評価 対面 6 オンライン 24

新助産所安全指導（1 カ所）

2022 年度医療連携に関する書類作成および連携助産所の確認

都立小児総合医療センター 公立昭和病院 都立大塚病院 国立国際医療研究センター

【施設勤務部会】

担当理事：大谷紗弥子 委員長：水村友香

委員：相沢澄子 赤山美智代 岩田敦子

目標：施設勤務助産師のスキルアップと会員同士の交流をめざす

評価：助産ケアの充実を図るための研修会

- ・東京都助産師委託講習会の企画・運営・評価

今年度は、4 講座担当。

ガスケアアプローチ・乳腺炎重症化予防は定員を満たしており、来年度は施設勤務部会主催の有料講座として開催することも検討していきたい。

助産師としてのモチベーション強化を図るための研修会の開催

- ・新生児を中心とした安全管理研修、助産師のキャリアアップのための研修会について、今年度は委託講習会の担当講座数が増えたため、開催を見合わせている。しかし、昨年度のテーマが、NICU がない産科病院・クリニックの看護師・助産師にとって特に興味深い研修のようであったため、来年度は施設勤務助産師が自施設内で経験できないような研修会の計画が良いと感じた。そのような施設勤務助産師・看護師のニーズにフォーカスしたテーマを選定していきたい。

他部会との連携の強化

- ・助産所の評価に協力については今年度は新型コロナウイルスの影響で施設勤務部会からの参加はなかった。

施設勤務部会会員情報の把握と会員のニーズの把握

- ・施設勤務部会会員の情報を把握、顔の見えるつながりを作る試み

非会員や退会を考えている会員から、「看護協会と同じような施設勤務者向けの保険加入があ

つ

たら継続したい」「無料の委託講習会で十分であるため入会するメリットがない」「公募では受

講が難しい研修（J-CIMELS や ALSO など）を企画してほしい」などといった声がきかれた。

委員会開催 8 回開催

【保健指導部会】

担当理事：板橋知子 委員長：大野倫子

委員：岩佐一恵 牧野好恵 伊藤敦美 内田綾子

目標：部会員の専門的な知識習得、技術の向上を図る

部会員の職務上必要な自己評価の機会の定着

部会員のニーズに応じた活動の推進

部会員増員にむけての活動

評価：委託講習会のアンケート結果では受講者の満足度は非常に高く、講義内容が具体的であり、最新の知識も取得でき、対象の把握の仕方関わり方をイメージでき直ぐに役立つという感想が多く寄せられた。「乳幼児の発育発達・早産児低出生体重児の退院後のフォローアップ・多胎児の退院後のケア・産後ケアリラクゼーション・産後や更年期以降の尿失禁・グリーフケア・赤ちゃんの脳の発達とねんねトレーニングの必要性注意点・泣きや寝ぐずりに悩む保護者への支援・整体師から学ぶ妊娠産褥期の不快症状へのケア・赤ちゃんの抱っこ月齢に応じたグッズや抱き方」の要望があった。来年度に反映させていきたい。

ヒヤリハットの報告 1 件（保健指導部メルマガで共有した）。グッドジョブの報告はなかった。

自己評価をすることが自身の成長に寄与することと捉えてもらえるよう RCA 分析の講習会などを今後企画していく。

保健指導部会員への活動調査より、委員活動への協力可能な部分を記載してくれている会員の把握ができた。会員の活動状況を日本助産師会へ報告できた。来年度は、部会員増員を早急に図る。

委員会開催 10 回

【総務総括委員会】

担当理事：北目利子 委員長：嶋村克子

委員：村田淳子 長塚美代子 山本弥生 加藤巴子

目標：総会の運営が円滑に行えるようにサポートする。

会員の各表彰の推薦事業

評価：総会は、感染対策を実施しながら受付・運営補助を実施した。

推薦事業は、理事会・地区分会長・事務局協力のもと、ほぼ円滑に行われた。

2021 年度表彰受賞者（敬称略）

- ・日本助産師会会長表彰
荒井みね子 大久保富士子 木内美津子 木切倉真澄 鈴木幸子 星野雄子 弓削美鈴
- ・日本助産師会永年活動感謝状受賞者
加藤巴子 影山初子 高橋廣美 牧京子 矢島床子
- ・東京都功労賞：山本聡
- ・東京都医療功労賞：土屋麻由美

委員会開催 5 回

【広報委員会】

担当理事：新野由子 委員長：荒慶子

委員：伊藤敦美 今村理恵子 齋藤典子 宗祥子 高橋一紗 中友里恵 二村文子

目標：本会の活動内容などの情報を会員、母子とその家族、社会に幅広く発信する。

評価：サンパ通信は、年 3 回（8 月、12 月、3 月）で配信した。デザイナーさんの変更。

メルマガは毎月 10 日配信実施。記事内容が多い時は、臨時号を配信。

SNS の活用は、Instagram を開始した。週 1 回で出来るだけ配信している。

賛助会員向け講座は、6 月から毎月 1 回（計 10 回）73 名（非会員も含む）参加。

委員会開催 6 回

【政策提言委員会】

担当理事：赤山美智代 委員長：宗祥子

委員：佐山理絵 清水幹子 横川峰子 代表理事 専務理事 常務理事

目標：・要望書の作成 ・東京都福祉保健局との交渉
・要望陳情活動 ・各地区分会の要望活動の推進

評価：活動目標にそって活動を行うことができた。

また各地区分会の要望活動の推進に関して、寄与できたと評価することができる。

要望陳情活動は下記のとおり行った

日時	要望先	参加者	備考
8 月 18 日	東京都福祉保健局	3	
8 月 31 日	公明党 都民ファースト自民党	5	
9 月 1 日	自民党 立憲民主党	5	
11 月 15 日	自民党都連	4	国家予算要望
11 月 15 日	東京都 小池都知事	2	ZOOM 東京都予算に対するヒアリング

要望事項

1. すべての出産を経験する女性が、産前産後のケア・支援サービスを利用できるよう支援されたい。また、地域で母子を支援する助産師の参画が推進されるよう区市町村に周知を図られたい。
2. 助産所における安全で安心な分娩を支援されたい。
3. 安心して妊娠・出産・子育てができる社会を実現するために、地域や施設で活動する助産師の能力向上に向けた取り組みを推進されたい。
4. N I C U 等入院児の在宅療養への円滑な移行及び退院後の安定した生活の継続のために、母親への支援において、地域の助産師の活用を推進されたい。
5. 妊産婦向け助産師オンライン相談の予算を令和 4 年度以降も継続されたい。
6. 中学校・高校における助産師による「いのちの教育」の実施を推進していただきたい。

委員会開催 4 回

【教育委員会】

担当理事：伊藤仁子 委員長：阿部直子

委員：大瀧悦子 大谷紗弥子 桑原さやか 豊嶋優子 土屋有利子 中野渡陽子 橋本初江

目標：社会状況や会員のニーズに応じた研修や講習に関する事項について必要な活動を行っていく。

評価：委託講習会については初めてのウェビナー開催、多少のミスは多々あったが無事開催できた。録画配信について要望はあるが諸々課題もあり配信しない方向。講習会によって参加人数の差が大きかった。

委員会開催 6 回開催

2021年度 東京都委託助産師教育指導講習会 プログラム

	開催日	時間	講座テーマ	講師(予定) ※敬称略
第1回 最新の助産師情報を得る	9/7 (火)	13:30～16:30	コロナ禍における医療従事者のメンタルヘルス	日本赤十字看護大学 精神保健看護学 教授 鷹野 朋実
	9/12 (日)	9～12	ガスケアプローチ	フランスガスケアプローチ協会公認指導者 瀬戸 景子・太田垣 美保 日本赤十字社医療センター 副看護部長 大野 芳江
		13:30～16:30	乳腺炎重症化予防ケア	みやした助産院 院長 宮下 美代子
	9/16 (木)	9～12	痛みと疲労の予測と現実のギャップ ～自然分娩と無痛分娩の比較～	聖路加国際大学大学院 ウィメンズヘルス・助産学 助教 矢野 恵理
		13:30～16:30	災害時のために日頃から必要な備え ～東日本大震災で実践した産科有床診療所の 災害対策を通して～	坂総合クリニック 助産師 青山 幸恵
	9/18 (土)	13:30～16:30	更年期	日本赤十字社医療センター 第一産婦人科部長 木戸 道子
第2回 専門的自律能力	10/16 (土)	13:30～16:30	新生児医療の最新知見	日本大学医学部小児科学系小児科学分野 主任教授 森岡 一朗
	10/17 (日)	13:30～16:30	障害のある子どもたちへの包括的 セクシュアリティ教育	筑波大学人間総合科学学術院博士後期課程 門下 祐子
	10/19 (火)	13:30～16:30	コロナ禍における免疫力向上について	株式会社日色鍼灸院 代表取締役 日色 雄一
	10/22 (金)	9～12	出生前診断(検査)・遺伝相談における 助産師の役割	NTT東日本関東病院 遺伝看護専門看護師 助産師 御手洗 幸子
	10/31 (日)	13:30～16:30	シンポジウム 政策提言の基礎 ～自治体における行政との関わり～	東京都助産師会政策提言委員会委員 佐山 理絵 シンポジスト他2名
		9～12	助産師が女性と子どもの健康と権利に寄与する ためのpolitical involvement (政治的関与)	内閣府 河野大臣室 秘書専門官 土井 真知
第3回 保健指導に役立てよう	12/6 (月)	9～12	クレーム対応 ～対象の背景を考察してより良い関係を築く～	くくな法律事務所 弁護士 馬場 望
		14:30～17:30	妊娠・授乳期の栄養・食生活と離乳食(補完食)の 進め方について	相模女子大学栄養科学部 健康栄養学科 教授 堤 ちはる
	12/9 (木)	13:00～16:00	小児の食物アレルギーとスキンケア ～親子の生活に寄り添った指導の工夫～	アルパカ小児科・耳鼻科クリニック アレルギー専門医 藤原 摩耶
	12/11 (土)	9～12	妊娠合併症とプレコンセプションケア	国立病院機構長崎医療センター 産婦人科部長 安日 一郎
		13:30～16:30	プレコンセプションケア	国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター母性内科 診療部長 荒田 尚子
	12/18 (土)	9～12	家族を含めた支援に向けて ～情報収集とアセスメントの在り方、面接方法の 実践～	北里大学看護学部 准教授 新井 陽子
第4回 ウィメンズヘルス	2/3 (木)	9～12	事例から学ぶ産科医療補償制度	公立大学法人神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部長・教授 村上 明美
		13:30～16:30	デートDV、DVの現状について	デートDV防止教育ファシリテーター 助産師 橋本 初江、他1名
	2/8 (火)	9～12	乳児の発達アセスメントと発達を促すかわり	国立成育医療研究センター 新生児科 医師 和田 友香
		14～17	メンタルヘルス支援が必要な妊産婦との コミュニケーションスキル	国立精神・神経医療研究センター 精神科 医師 蟹江 絢子
	2/23 (水)	9～12	助産師だからできる妊産婦の精神的ケア	こころの診療科きたむら醫院 助産師 羽田 彩子
		13:30～16:30	周産期のボンディングとその障害 ～助産師による支援のための基礎～	城西国際大学 看護学部 教授 大橋 優紀子

【いのちの教育委員会】

担当理事：板橋知子 委員長：柴亜希子

委員：代田佳恵 岩佐寛子 棚木めぐみ 大田静香 工藤有里 菅井徹子

目標：会員の専門的な知識習得、技術の向上を図る。研修会の充実

「生・性（いのち）を語るエデュケーター」認定者の増員を図る。会員への周知活動

「生・性（いのち）を語るエデュケーター」間の交流の充実と活動を拡大する

性教育等の最新の情報をつかみ、教育に活かせるものを選択する

評価：研修会の開催（主催研修会年2回・助産師教育委託講習会年1回）することができた。さらにエデュケーターにおいては無料での受講を可能にすることになり、負担なく研鑽を積むことができるようになった

エデュケーターPR 動画作成をし、ホームページ、YouTube 配信をした。来年度以降の増員に期待できると思われる

年2回の生・性を語るエデュケーター交流会開催をした。今後は内容の充実をしていきたい

感染防止により全ての研修と会議を Zoom などのオンラインとする"ことで参加しやすくなり、情報を配信することができた。しかし教材を最新のものにする作業が追い付かないままである。来年度の課題とした。

性教育件数 幼稚園・保育園5件、小学校12件（同じ学校での2回開催あり、延べ数）、中学校9件、高校3件、保護者1件（東京都助産師会に依頼のあったものに限る）

研修会

開催日	研修会	講師	参加者数
6月16日	DSDs：体の性の様々な発達（性分化疾患）の新しい理解と支援	ヨヘイル	59
2月5日	国際セクシャリティ教育ガイダンスを学ぼう	浅井春夫	38

委員会開催 6回

【助産業務安全対策委員会】

担当理事：片岡弥恵子

委員：常任理事、3 専門部会理事または委員長、政策提言委員長、総務担当理事

安全管理室：委員長：蛭田明子 委員：岩井紗貴子 今井晶子 山本智美 由利沙織

顧問：五島丈裕

評価：異常報告・転院報告について安全管理室からの報告を受け、対応について検討した。適宜ヒアリングを行い、助産所部会と連携し、適時に対応できるよう努めた。日本助産師会の新システムへの移行に関して、会員の支援を行った。

委員会 6回開催

【災害対策委員会】

担当理事：名嘉眞あけみ 委員長：北七子

委員：榎本裕子 熊谷典子 鈴木享子 高谷陽子 田中佳子

目標：各地区分会の支援活動計画の整備を促進する

災害時に地区分会相互の支援連携が行えるための具体策を地区分会が計画できるようにする

評価：各地区分会の支援活動計画の整備を促進する

都委託講習会にて具体的な災害対策についての情報を提供した。

災害時に地区分会相互の支援連携が行える為の具体策を地区分会が計画できるようにする

災害対策地区分会交流会を実施した。協定締結後も区と災害対策で積極的に活動を継続している事例を共有した。ただし相互の支援連携への具体的な行動計画立案までは至らなかった。

委員会 6回

【産後ケア推進特別委員会】

担当理事：片岡弥恵子 委員長：岡津愛子

委員：一之瀬浩美 江坂まや 大久保有紀子 佐々木美幸 山田静江

目標：地域において助産師による産後ケア事業の質の維持のための評価表作成

評価：産後ケア事業の質に関して文献検討を基盤に、産後ケア推進特別委員のメンバーで討論し項目を作成した。作成した評価表の活用方法に関して議論した。

委員会 5 回開催

子育て女性健康支援センター

電話相談 毎週火・木曜日 10:00～16:00 相談件数 122 件

いいお産の日イベント

テーマ「インスタライブと写真コンクール」

14 ライブと開会式および表彰式すべてのプログラム動員数、およびインスタ投稿数

リアル視聴者数 1171 人 アーカイブ数 3196 人 投稿数 13 名 合計動員数 4380 名

写真コンクール 応募 199 作品 一般審査、河合蘭氏を特別審査員として入賞者を決定

オンライン助産師相談

2020 年 4 月 27 日から 5 月 23 日までの予定で東京都助産師会事業としてスタート

2020 年 5 月 16 日からは東京都委託事業として 6 月 30 日まで継続。相談件数 556 件

2021 年 1 月 4 日から 2021 年 3 月 31 日まで東京都委託事業として実施。相談件数 354 件

寄り添い型支援

2021 年新型コロナウイルスに感染した妊産婦への寄り添い型支援業務委託 延べ件数 3 件

コロナ陽性妊産婦自宅療養健康観察事業

2021 年 11 月 1 日～3 月 31 日 東京都委託事業として実施。 872 名の妊産婦の健康観察を実施

東京都助産師会 Youtube チャンネルへの動画投稿

2021 年に引き続き動画教材の作成と公開を行った。 配信動画数 95 本 チャンネル登録者 5820 人

独立行政法人福祉医療機構助成事業の実施

R3 年度社会福祉振興助成事業

「助産師による在日外国人ママ/パパの産前産後のサポート」を展開。

中国語：5 回開催（63 名）・ベトナム語：2 回開催（14 名）・産後サロン：2 回開催（11 名）